



## 第 68 回日本リハビリテーション医学会関東地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会



○日 時： 2018 年 2 月 4 日（日） 9：20～16：00

○会 場： 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2 階ホールウェスト

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 Tel 03-6206-4855

JR 中央・総武線「御茶ノ水」駅 聖橋口より徒歩 1 分

東京メトロ 千代田線「新御茶ノ水」駅 B2 出口直結

東京メトロ 丸の内線「御茶ノ水」駅 出口 1 より徒歩 4 分

都営地下鉄 新宿線「小川町」駅 B3 出口より徒歩 6 分

○会 長： 神野 哲也（東京医科歯科大学 リハビリテーション科）



第 68 回日本リハビリテーション医学会関東地方会 地方会担当幹事：神野 哲也

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学医学部附属病院 リハビリテーション部

Tel/Fax：03-5803-4021 E-mail：admin.reh@tmd.ac.jp 担当事務：藤森

- 参加費等
- ・ 地方会参加費 医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生無料
  - ・ 日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修会 1 講演 1,000 円
  - ・ 日本整形外科学会 教育研修会 1 講演 1,000 円
- 単位認定
- ・ 地方会参加 10 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 10 単位）
  - ・ 日本専門医機構専門医は参加 2 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位）
  - ・ 生涯教育研修会 1 講演 10 単位（3 講演で 30 単位）
  - ・ 日本整形外科学会教育研修会 1 講演 1 単位（3 講演で 3 単位）
- 必須分野：講演 1 [1, 11], Re 講演 2 [8, 13], Re 講演 3 [14・1]
- 日整会単位申請には IC 会員カードが必要です。必ずご持参ください。

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。利益相反がない場合も、スライドで表示してください。

**参加者の皆様へ**

プログラムは当日配布致しませんので、必ずご持参ください。

1. 受付にて参加費（医師 2,000 円、スタッフ 1,000 円）と引換えに領収書と青色の参加カードと参加証明書をお受け取りください。参加証明書はお手元に保存し、必要事項を記入したカードを専用の回収箱にお入れください。
2. 生涯教育研修会にご参加の方は、1 講演につき 1,000 円をお支払いいただき、領収書をお受け取りください。専門医・認定臨床医資格更新のための単位取得をご希望の方は、白色の受講カードをお受け取りください。認定臨床医受験資格取得のための単位取得をご希望の方は、お申し出の上、オレンジ色の受講カードと受講証明書をお受け取りください。いずれも、受講証明書をお手元に保存し、記入済みの受講カードは講演終了後、専用の回収箱にお入れください。
3. 日本整形外科学会教育研修会にご参加の方は、1 講演につき受講料 1,000 円をお支払いいただき、領収書をお受け取りください。講演開始前に、領収書を受付スタッフに提示し、IC 会員カードをカードリーダーにかざしてください。

**一般演題ご発表の先生方へ**

1. 発表方法に関して
  - (1) 発表時間は 6 分、討論 2 分です。発表時間は厳守してください。
  - (2) 発表は PC を使います。スライドやビデオは使用できませんのでご注意ください。
  - (3) 発表データは、USB メモリ、CD-R、PC 本体のうちいずれかの様式でお持ち込みください。

2. 講演開始 30 分前までに PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。
3. USB メモリ・CD-R をお持込みの方への注意事項
  - (1) ウィルスチェックは最新の定義ファイルを用いて必ず行っておいてください。
  - (2) ソフトは Windows 版 PowerPoint 2010 または 2013 をご使用ください。  
\*Macintosh をご使用の方はご自身の PC 本体を持参してください。
  - (3) フォントは OS 標準のもののみをご使用ください。
  - (4) 動画ファイルをご使用の場合、再生に問題のないご自身の PC 本体をお持込みになることを推奨します。
4. ノート PC をお持込みの方への注意事項
  - (1) バックアップとして必ず USB メモリ等をご持参ください。
  - (2) プロジェクターとの接続ケーブルは Dsub-15 ピンです。PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
  - (3) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
  - (4) 持ち込み PC のスクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
5. 日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med.」掲載用の抄録原稿  
『演題名、演者名、演者所属、抄録（本文 400 字以内）』を作成し、デジタルデータとして当日 PC 受付時にご提出、または 1 月 31 日までに事務局宛(admin.reh@tmd.ac.jp)にご提出ください。
6. 発表が次の順番になりましたら、次演者席にて待機してください。

# 第 68 回日本リハビリテーション医学会

## 関東地方会学術集会 プログラム

---

【一般演題：第 1 部】 9：20～10：00

座長：星野 ちさと（東京医科歯科大学 リハビリテーション科）

---

1. **Proportional Assist Ventilation (PAV+)モードによる人工呼吸管理下で早期リハビリテーションを行い、呼吸器離脱に至った敗血症性ショックの 1 例**  
東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 <sup>1)</sup>，  
東京慈恵会医科大学附属柏病院リハビリテーション科 <sup>2)</sup>  
○新見 昌央 <sup>1),2)</sup>，樋口 謙次 <sup>2)</sup>，又吉 由紀子 <sup>1)</sup>，安保 雅博 <sup>1)</sup>
2. **悪性リンパ腫に対する化学療法後の末梢神経障害により嚥下障害を来した一例**  
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院  
○野尻 恵里，正岡 智和，川手 信行，諸富 伸夫，飯島 伸介，請川 大，  
竹島 慎一，星 忠成，和田 義敬，飯田 守
3. **カルバマゼピン休薬が契機となり、発症 1 年 4 ヶ月後に嚥下機能と活動性が改善した外傷性脳挫傷の一例**  
昭和大学リハビリテーション医学講座  
○竹島 慎一，飯田 守，野尻 恵理，和田 義敬，杉山 智子，星 忠成，  
請川 大，飯島 伸介，正岡 智和，諸富 伸夫，川手 信行
4. **人工股関節全置換術術後退院予測因子としての RAPT score と歩行速度**  
山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部 <sup>1)</sup>，  
山梨大学大学院整形外科学講座 <sup>2)</sup>  
○谷口 直史 <sup>1)</sup>，波呂 浩孝 <sup>2)</sup>
5. **病院実習を開始する理学療法および作業療法学科学生を対象とした手指衛生に関する調査**  
昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション科 <sup>1)</sup>，同 リハビリテーション室 <sup>2)</sup>，  
昭和大学保健医療学部 <sup>3)</sup>，昭和大学横浜市北部病院臨床検査室 <sup>4)</sup>，同 物品管理室 <sup>5)</sup>  
○城井 義隆 <sup>1)</sup>，吉田 瑞 <sup>1)</sup>，須山 陽介 <sup>2)3)</sup>，嘉部 匡朗 <sup>2)3)</sup>，津田 祥子 <sup>4)</sup>，  
江口 弘法 <sup>5)</sup>

---

【一般演題：第2部】 10:00～10:40

座長：正岡 智和（昭和大学 リハビリテーション医学講座）

---

6. 年齢と社会的背景を考慮した結果、インスリンを再開しなかった一例  
東光会戸田中央リハビリテーション病院  
○杉 徳臣，西野 誠一，岩間 洋亮，齋藤 朋美，佐藤 信也
7. 頭部外傷を契機に発見された脳梁全欠損症の成人例について  
東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科<sup>1)</sup>，  
東京慈恵会医科大学ハビリテーション医学講座<sup>2)</sup>  
○渡邊 修<sup>1)</sup>，秋元 秀昭<sup>1)</sup>，原 貴敏<sup>1)</sup>，福井 遼太<sup>1)</sup>，長谷川 雄紀<sup>1)</sup>，  
安保 雅博<sup>2)</sup>
8. INTELLiVENT-ASVを用いた、高位頸髄損傷患者の人工呼吸器離脱経験  
医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 リハビリテーション科  
○清水 学，鈴木 龍太
9. 茨城県南地域における大腿骨頸部骨折地域連携バス稼働後における自宅復帰について—急性期病院と回復期病院の比較  
JA とりで総合医療センター  
○鈴木 康司，南家 秀樹，青山 広道
10. 人工膝関節全置換術における入院期間と術後 ADL の関連性について  
東京医科歯科大学 整形外科<sup>1)</sup>， 同 リハビリテーション科<sup>2)</sup>  
○山本 尚輝<sup>1)2)</sup>，神野 哲也<sup>1)2)</sup>，酒井 朋子<sup>1)2)</sup>，渡邊 敏文<sup>1)</sup>，宮武 和正<sup>1)</sup>，  
星野 ちさと<sup>1)2)</sup>，高田 亮平<sup>1)</sup>，平尾 昌之<sup>1)</sup>，小川 貴久<sup>1)</sup>，大川 淳<sup>1)</sup>

《休憩》

---

【一般演題：第3部】 10:55～11:35

座長：谷口 直史（山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

---

11. 頸椎前縦靱帯骨化症により嚥下障害をきたした1例  
群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション科  
○金谷 崇文，田澤 昌之，黒崎 みのり，井上 智貴，伊部 洋子，有井 大典，  
和田 直樹

**1 2. 腰椎椎間板ヘルニアによる下肢麻痺に対する短下肢装具により歩行が改善した超高度肥満の一例**

獨協医科大学病院 臨床研修センター<sup>1)</sup>, 同 リハビリテーション科<sup>2)</sup>

○松原 正典<sup>1)</sup>, 入澤 寛<sup>2)</sup>, 渋谷 健一郎<sup>2)</sup>, 鈴木 大雅<sup>2)</sup>, 美津島 隆<sup>2)</sup>

**1 3. 大腿義足にシッティングアシスト付固定膝を導入した四肢切断例の経験**

昭和大学リハビリテーション医学講座

○飯田 守, 飯島 伸介, 鹿沼 優, 諸富 伸夫, 正岡 智和, 請川 大, 竹島 慎一, 星 忠成, 和田 義敬, 野尻 恵里, 山下 愛茜, 杉山 智子, 川手 信行

**1 4. 発症 5 か月で復職した抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例**

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

○和田 義敬, 飯島 伸介, 野尻 恵里, 飯田 守, 星 忠成, 竹島 慎一, 請川 大, 正岡 智和, 諸富 伸夫, 川手 信行

**1 5. 当院でのリハビリテーションの現状と人員不足に対する対策**

東京女子医科大学東医療センター リハビリテーション部

○菊池 麻美, 吉村 知香, 関根 千晶

---

【一般演題：第 4 部】 1 1 : 3 5 ~ 1 2 : 2 5

座長：酒井 朋子（東京医科歯科大学 リハビリテーション科）

---

**1 6. 肺高血圧症患者のリハビリテーションにおける心拍変動解析の応用**

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室

○金森 裕一, 西郊 靖子, 熊谷 裕美, 立花 佳枝, 高内 裕史, 荒川 英樹, 根本 明宜, 中村 健

**1 7. 当院リハビリテーション依頼患者の上腕・下腿周囲径に関する調査**

防衛医科大学校病院

○花輪 聖大, 小林 龍生, 森 俊樹

**1 8. 廃用症候群における二次性サルコペニアの有病率**

埼玉医科大学病院リハビリテーション科

○前田 恭子, 間嶋 満, 倉林 均

**19. 平成28年度診療報酬改定後のリハビリテーション関連医療費の動向**

東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科

○小山 照幸

**20. 大動脈解離によって対麻痺を来した透析患者の1例**

新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科<sup>1)</sup>,

南魚沼市民病院リハビリテーション科<sup>2)</sup>

○山崎 遼<sup>1)</sup>, 大西 康史<sup>2)</sup>, 木村 慎二<sup>1)</sup>, 居城 甫<sup>1)</sup>, 眞田 菜緒<sup>1)</sup>, 遠藤 直人<sup>1)</sup>

**21. 呼称時に英単語が頻出した超皮質性運動失語の一例**

昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション科<sup>1)</sup>, 同 リハビリテーション室<sup>2)</sup>,

同 脳外科<sup>3)</sup>

○吉田 瑞<sup>1)</sup>, 城井 義隆<sup>1)</sup>, 佐野 太基<sup>2)</sup>, 出井 彩子<sup>2)</sup>, 藤島 裕丈<sup>3)</sup>

《休憩》

**日本リハビリテーション医学会  
専門医・臨床認定医生涯教育研修会**

12:40～16:00

**講演1 [ランチョンセミナー]** 座長：松原 正明（日産厚生会玉川病院 股関節センター）  
「股関節のキネマティクスとリハビリテーション」

大阪大学大学院 器官制御外科学 講師 坂井 孝司

共催：日本ストライカー株式会社

**講演2** 座長：川手 信行（昭和大学リハビリテーション医学講座）  
「ICUにおける早期リハビリプログラム：米国と日本での経験を踏まえて」

東京医科歯科大学大学院 生体集中管理学分野 主任教授 重光 秀信

共催：ドレーゲル・メディカルジャパン株式会社

**講演3** 座長：神野 哲也（東京医科歯科大学リハビリテーション科）  
「特定機能病院に求められている医療安全体制とその背景」

東京医科歯科大学医学部附属病院長 大川 淳